

めざせ学力向上!

～できた 分かった喜びが味わえる学校～

家庭学習を習慣化させよう

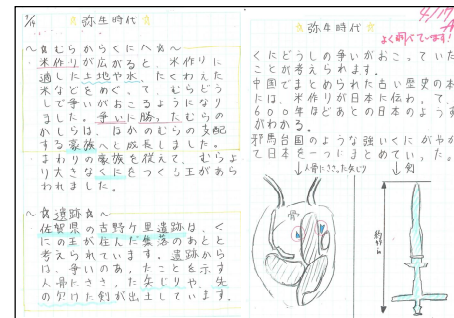
- ☆ 規則正しい生活をしよう。「早寝・早起き・朝ご飯」
- ☆ テレビやゲームの時間を決めよう。「ノーメディアデーに取り組もう」
- ☆ 自分で時間割や学習用具をそろえよう。「机の上の片付けを心がけよう」
- ☆ 学習の進め方(裏面)に沿って取り組もう。

小学校の学習内容は、将来自立するための基礎となるものです。特に家庭学習は学習の定着と学習習慣を身につける大きな役割があります。昔から「読み・書き・そろばん」と言われるように「読む」「書く」「計算」することは「生きていくための力」として必要不可欠です。

学校と家庭とが連携・協力することで、その力は何倍にも伸びていくものと期待されます。ぜひ、お子様の学力向上に向けご協力ください。

家庭学習の内容として・・・

- 宿題(担任から毎日出される課題・プリントなど)
- 自主勉強(学習計画や内容を自分で決め取り組むノート学習)
- 家庭で用意した教材(市販のドリルやワーク、塾の課題など)



【自主勉強の取り組み例】

これだけは身につけよう!

- <調べ学習> 地図記号 国名・国旗 歴史上の人物 意味調べ 詩・俳句・百人一首 動植物調べ
- <発展学習> 応用問題に挑戦 授業の予習・復習 実験・観察記録 問題作り 学習新聞、まとめ 間違えた問題を解き直す
- <反復学習> 漢字練習 視写 計算練習 ドリル問題 など

1年

学習の目安
20分以上

基礎
基本

鉛筆を正しく持ち、よい姿勢で字が書ける。

- 国語 ① 「ひらがな・カタカナ」を正しく読んだり書いたりできる。
② 助詞「は・へ・を」を適切に使い、簡単な文を書くことができる。
③ 1年生の漢字を8割以上読んだり書いたりできる。
- 算数 ④ たし算やひき算を正しく計算できる。
⑤ 時計の時刻を正しく読むことができる。

2年

学習の目安
30分以上

基礎
基本

鉛筆を正しく持ち、よい姿勢で字が書ける。

- 国語 ① 2年生の漢字を8割以上読んだり書いたりできる。
② 教科書をすらすら読める。
③ 順序よく話をするができる。
- 算数 ④ 九九がすらすら言える。 ⑤ たし算やひき算の筆算ができる。
⑥ 決められた長さの直線を正しく引くことができる。

3年

学習の目安
40分以上

基礎
基本

字をていねいに書いたり、消しゴムできれいに消したりできる。

- 国語 ① 3年生の漢字を8割以上読んだり書いたりできる。
② ローマ字の読み書きができる。
③ 国語辞典を使って言葉を調べられる。
- 算数 ④ かけ算の筆算や簡単なわり算ができる。
⑤ コンパスを使って簡単な図形を描くことができる。
- 社会 ⑥ 地図記号が分かる。
- 理科 ⑦ 植物や昆虫の体のつくりが分かる。

4年

学習の目安
50分以上

基礎
基本

字をていねいに書いたり、消しゴムできれいに消したりできる。

- 国語 ① 4年生の漢字を8割以上読んだり書いたりできる。
② 国語辞典や漢和辞典を正しく使える。
- 算数 ③ わり算の筆算ができる。
④ 分母が同じ分数のたし算やひき算ができる。
- 社会 ⑤ 47都道府県の位置が分かる。
- 理科 ⑥ 教科書に出てくる星や星座の名前を言うことができる。
⑦ 身近な動植物や式の変化について調べることができる。

5年

学習の目安
60分以上

基礎
基本

適度な速さで、整った字形でノートに書くことができる。

- 国語 ① 5年生の漢字を8割以上読んだり書いたりできる。
② 一文の長さに気をつけて、主語と述語が対応した文が書ける。
- 算数 ③ 小数のかけ算・わり算ができる。
④ 分母が異なる分数のたし算・ひき算ができる。
- 社会 ⑤ 世界の大陸・海洋と国土の特徴(地形や気候)が分かる。
- 理科 ⑥ 手順を守って、安全に実験や観察を行うことができる。
- 英語 ⑦ 簡単な英語を使って、あいさつや自己紹介をすることができる。

6年

学習の目安
70分以上

基礎
基本

自分なりに工夫してノートにまとめることができる。

- 国語 ① 6年生の漢字を8割以上読んだり書いたりできる。
② 根拠(資料や他人の意見)を示しながら、自分の考えを書くことができる。
- 算数 ③ 分数のかけ算・わり算ができる。
④ 単位変換ができる。
- 社会 ⑤ 主な歴史上の事件や人物について分かる。
- 理科 ⑥ 既習事項を基に予測を立てて、実験や観察を行うことができる。
- 英語 ⑦ 簡単な英語を使って、基本的な会話ができる。



家庭学習の手引き

平成30年度 総社市立秦小学校

1 決まった時刻に決まった場所で

家庭学習を習慣化する第一歩は、決まった時刻になったら決まった場所でやり始めることです。始める時刻が決まっていないと、つい先延ばししてしまい、気がつくともうすぐ寝る時刻になっているということになりかねません。

2 静かな場所で姿勢よく

学習を始めたら、途中でそこを離れたりマンガを読むなど別のことをしたりしないことです。また、集中を妨げるテレビや音楽などを自分から消すことが大切です。

学習に集中するためにはしっかりとした座り方も大きく影響します。背筋を伸ばすことで程よい緊張感をもたせ、学習の効果を上げてくれます。「鉛筆を持たない手」も重要です。ノートを押さえた方が集中しやすくなります。押さえていない状態だとノートが動いてしまい、100%集中することができなくなってしまいます。

3 日付やページ番号、問題番号を必ず書く

問題の「やり忘れを防ぐ」ため、「見直し」をするため、「〇つけ」をするため、「復習」をするため。これらのことをしっかりとするためには、日付やページ番号、問題番号を書くことが基本となります。

4 字をていねいに書く

計算ミスの原因の多くが、「字が雑なための読み間違い」や「マスを無視した位の読み間違い」です。字自体をていねいに書くことやノートのマスをきちんと利用することが大切です。また、「消しゴムできれいに消す」ことや「定規で線を引く」、「正しい鉛筆の持ち方」なども当たり前と軽視されがちですが、どれも欠かせない身につけておくべき学習の基本的な技能・習慣です。

5 見直しをする

見直しをすることはミスを見つけるために必要なことです。しかし普段から見直しをする習慣をつけておかないと、テストの時だけしてもなかなかミスを見つけることはできません。

- ① 問題の読み間違い
- ② 字の写し間違い
- ③ 計算や漢字の間違い
- ④ 単位の書き間違いや書き忘れ

などを普段から見直す習慣を身につけることが大切です。特に作文の場合は、書いた文を読み直すことで、作文力もぐっとUPします。

6 答え合わせをする

問題を解いたら必ず答え合わせをすることが大切です。答え合わせをしないと学習効果はほとんどありません。それは間違えた問題が重要だからです。正解した問題はすでにできるようになっているため、ただの確認となります。間違えた問題を「なぜ間違えたのか」を考えたり、解き直して「できるようになる」ことに価値があります。計算を速く正確にという反復練習や調べ学習も、もちろん大切な学習です。

7 毎日家の人に見てもらい、先生に提出する

高学年になるにつれ、家の人に宿題を見せなくなったり家の人も忙しいためつい本人任せになったりしがちです。そのため、学習習慣が崩れ、気づくと宿題を提出しておらず、担任から連絡があってはじめて知ることになりかねません。テストの結果や通知表だけでなく、普段の学習から目を通すことで、何ができて何が苦手なのか把握したり、できたことを褒めたりコミュニケーションの手段にもなります。

家庭と学校で協力連携していくことで、学習に対する意欲や意識の変化につながるように見届けていきたいものです。

学習成果について

学力は累乗の効果があると言われています。勉強量と成績の関係は単純な比例関係ではなく、等比級数的な上昇カーブを描きます。

例えば、今の成績を1とします。そこで勉強の目標値を1000に設定したとき、勉強してレベルが上がると2になります。また勉強を続けてもう1ランク上がると、3ではなく4になります。さらに努力して続けていると成績は、8、16、32と累積して上昇していきます。

しかし、努力したと自分が思っている以上に成績は目に見えて現れてきません。まだ32です。目標値の1000は、はるか遠くです。

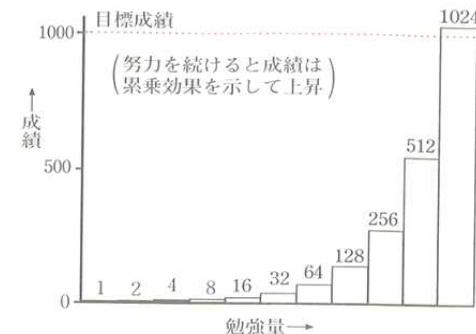
多くの人はこの辺りで「努力しているのにどうして成績はアップしないのだろうか。」などと悩みあきらめてしまいます。そして成績が1000の人を見ると「天才」と感じてしまいます。

ですが、ここであきらめず努力を続けることができれば成績は、64、128、256、512と飛躍的にアップします。ここまで努力をしてやっと成果を実感できるようになります。もう一歩努力すれば、目標値の1000に届きます。

目標値の1000に届いた後を考えてみてください。次に努力した場合、何と2048になります。1から2、2から4に上げるために費やした努力と同じ労力で、いきなり1000以上アップできるのです。この境地に立つとおそらく勉強することや努力することが楽しくなることでしょう。

別の例で考えてみます。1時間勉強するところを1.1時間勉強したとします。それを1週間続けると、「 $1.1 \times 1.1 \times 1.1 \times 1.1 \times 1.1 \times 1.1 \times 1.1 = 1.9487171$ 」となります。つまり1週間で約2倍学力を伸ばすことができます。逆に手を抜いてしまった場合、「 $0.9 \times 0.9 \times 0.9 \times 0.9 \times 0.9 \times 0.9 \times 0.9 = 0.59049$ 」となってしまいます。大きな差があることに気づくことができます。もし、何も勉強しない日があったらどうでしょう。答えはその時点で0になってしまいます。

宿題だけすることを1と捉えるとどうでしょう。自主勉強をする大切さが分かっていたけると思います。普段の学習への取り組み方次第で大きなチャンスになります。



復習の大切さ

学習した時にはできていたのに、時間が経つとできなくなっているといことはよくあることです。次のグラフは「エビングハウスの忘却曲線」と呼ばれるものです。覚えたことをどのくらいの時間で忘れていくのかを示したものです。

20分後には42%のことを忘れ、1日後には74%忘れることが分かります。1ヶ月も経てば5分の1しか覚えていないということになります。

では忘れないようにするためにはどうすればよいのでしょうか。それは復習（反復練習）をするしかありません。復習が大切と言われるのにはこうした理由があるのです。

